

# たからざか



令和4年  
11月発行  
No.74

良質で高度な医療を提供し  
住民に愛される病院を目指します。

大牟田市宝坂町2丁目19番地1  
TEL 0944-53-1061

HP <https://www.ghp.omuta.fukuoka.jp/>



## 東7病棟

東7階病棟は、「あなたの一番近くで支えたい」をスローガンに、患者さんご家族に寄り添った優しさのある看護を目指し、スタッフ一同取り組んでいます。

内科・外科・泌尿器科・婦人科の化学療法や放射線治療、肝疾患の血管造影治療など、それぞれの疾患ごとに専門性の高い治療が行われています。入院中に安心して治療を受けて頂けるよう、看護師だけでなく、他職種協同にてチーム医療を提供しています。

また、毎週緩和ケアチームで、カンファレンスを行い、患者さんが抱えている問題に取り組んでいます。緩和ケアチームでは、医師、緩和ケア認定看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、社会福祉士（ソーシャルワーカー）から構成されています。支援内容としては、医師は心や身体の苦痛緩和、緩和ケア認定看護師は患者さんやご家族の精神的支援、薬剤師は内服薬や抗癌剤の説明、理学療法士は筋力の維持や日常生活動作の支援、管理栄養士は食事の形態や食べやすい食事の工夫、社会福祉士（ソーシャルワーカー）は生活支援などを行っています。

さらに、コロナ禍で中止になっていた、医科歯科連携が3年ぶりに毎週水曜日午後より再開となりました。医科歯科連携では、患者さんの生活の質向上を目的に、近隣の歯科衛生士と協力して口腔ケアの充実を図り、地域の歯科医療機関と連携を行っています。口腔内の状況を評価して、個々に応じたブラッシングの指導を行っています。相談をご希望の方は、病棟の看護師にお尋ねください。



緩和ケアチーム



緩和回診カンファレンス



医科歯科連携

# プレコンセプションケア

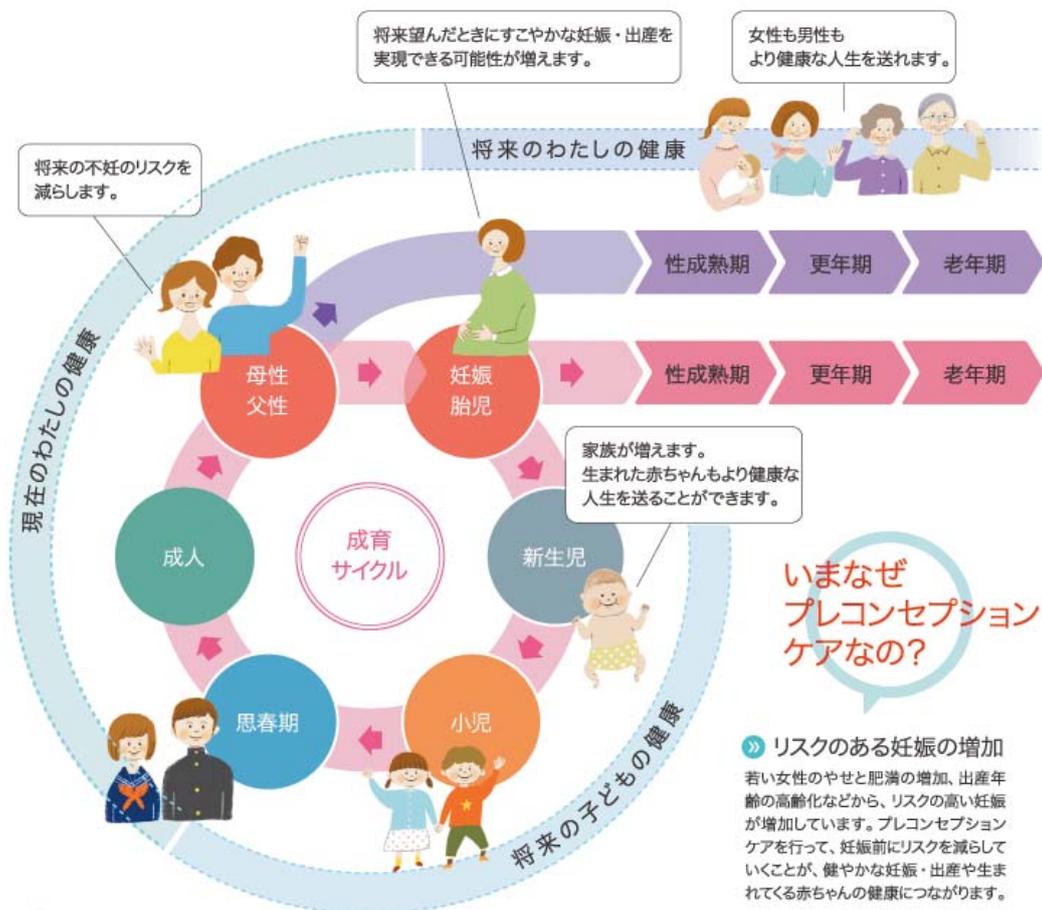


産婦人科 部長 村上 文洋  
むら かみ ふみ ひろ

## 「プレコンセプションケア」を知っていますか？

プレ(Pre)は「～の前の」、コンセプション(Conception)は「受胎」、つまりおなかの中に新しい命をさずかることをいいます。プレコンセプションケア(Preconception care)とは、将来の妊娠を考えながら女性や若い男女が将来のライフプランを考えて、日々の生活や健康と向き合うこと、元気な赤ちゃんをさずかるチャンスを増やすこと、さらに女性や将来の家族がより健康な生活を送れることをめざします。

プレコンセプションケアは、妊娠を計画している女性だけではなく、すべての妊娠可能年齢の女性にとって大切なケアです。自分を管理して健康な生活習慣を身につけること、それは単に健康を維持するだけではなく、より素敵な人生を送ることにつながるでしょう。



### ❖ 不妊の増加

「生理不順を放置していた」「生理痛をがまんしていた」などが将来の不妊の原因となることがあります。妊娠や出産に関する正しい知識を得て行動し、将来の不妊のリスクを減らしましょう。

### ❖ 人生100年時代を生きるために

子どもを持つ選択をするかしないかにかかわらず、プレコンセプションケアを実施することで、より豊かな人生につながるでしょう。

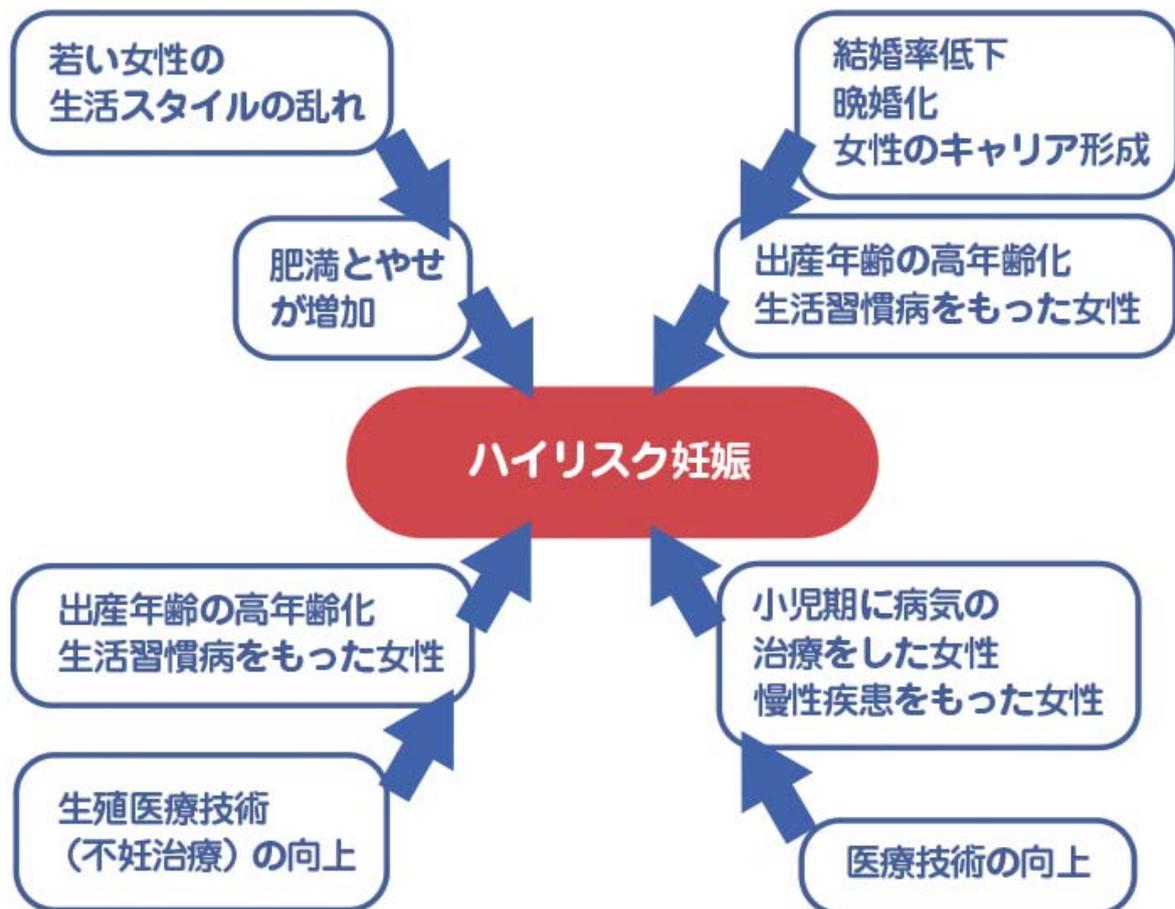
## プレコンセプションケアと妊娠

日本では、医療の発展によって妊婦死亡率や周産期死亡率(妊娠満22週以後の死産と生後1週間以内の死亡を合わせた死亡率)は劇的に減りました。しかし、女性が持つリスク因子が原因とされる先天異常、低出生体重児等は減っていません。

リスク因子としては、やせや肥満、喫煙、持病、高齢などが考えられており、これらに該当する女性が妊娠した場合、流産、早産、2500g未満の低出生体重児、先天異常などの発生頻度は、通常よりも高くなります。胎児の心臓は受精後22日で拍動を始め、神経管は受精後28日までに閉鎖するので、妊娠に気づいてからリスク因子のケアを始めるのでは遅いのです。

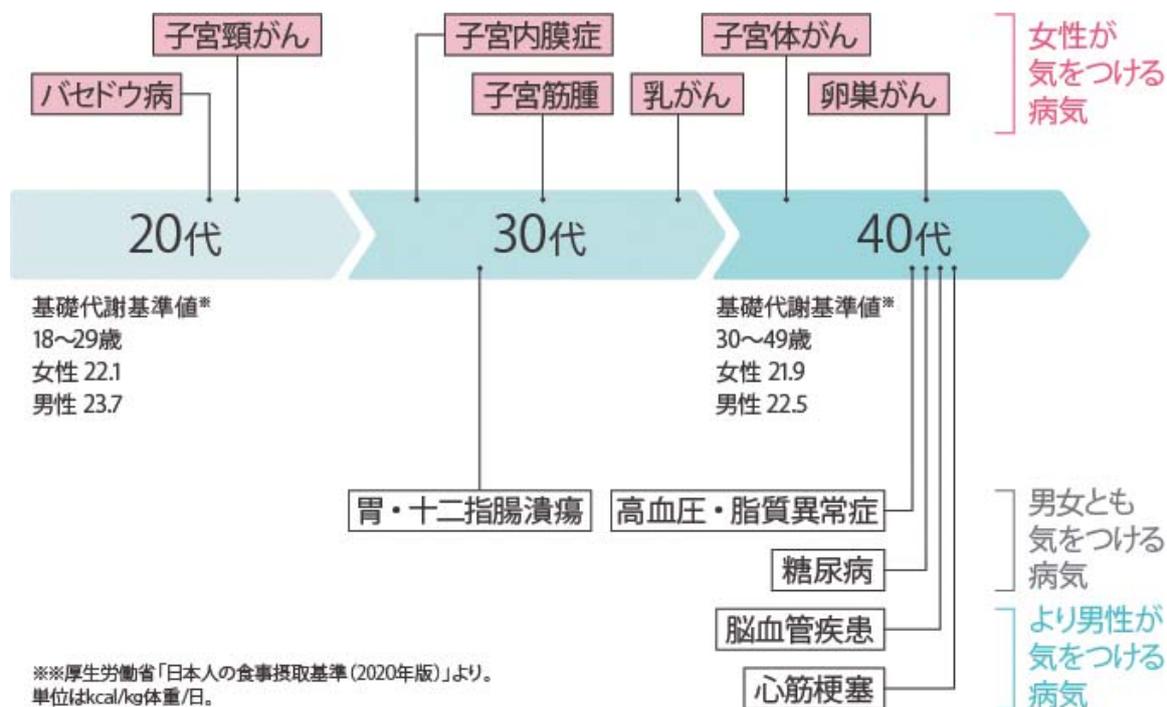
女性には、妊娠前から自身の健康状態やリスク因子を把握して、早めにケアを始めてもらうことが大切です。また、持病などによって妊娠が難しい人も、プレコンセプションケアによって妊娠の道を探ることができます。

### ハイリスク妊娠の要因



## ライフコース・ヘルスケアを実践し、未来の自分をデザインしてみよう

「ライフコース・ヘルスケア」とは、長く幸せに生きるために行う「生涯を通じた健康管理」のことで、プレコンセプションケアもそのひとつです。遺伝素因（遺伝的に特定の疾患にかかる可能性が高まっていること）、生まれてから乳幼児期までの環境等を考慮するため、その内容は一人ひとり異なります。年齢を重ねるごとに生活習慣病やがんなどのリスクは高まり、男女でも違った特徴が見られます。



## 次世代を担う子どもの健康へつなげる

プレコンセプションケアは、次世代を担う子どもの健康にもつながるとして、近年注目されているヘルスケアです。早い段階から正しい知識を得て健康的な生活を送ることで、将来の健やかな妊娠や出産につながり、未来の子どもの健康の可能性を広げます。

## 人生100年時代を自分らしく生きるために

いまは妊娠や結婚を考えていなくても、プレコンセプションケアを実施することでいまの自分がもっと健康になって、満ち足りた自分(well-being)の実現につながります。元気で満ち足りたからだところをめざすことは、とても素晴らしいことです。人生100年時代を迎えたいま、プレコンセプションケアはより豊かで幸せな人生へと、皆さんを導いてくれるでしょう。

実際に妊娠・出産をするのは女性ですが、女性の健康を支えるパートナーやご家族、企業の健康支援のご担当者様が正しい知識を持って適切に行動することも、女性や赤ちゃんの健康を守ることにつながります。すべての世代の男性にも女性にも、プレコンセプションケアの大切さを知っていただくこと、そして健康を促進していただくことを願っています。

# あなたは病理診断を 信じますか？



病理診断科 部長 しままつ 島松 かず ひで 一秀

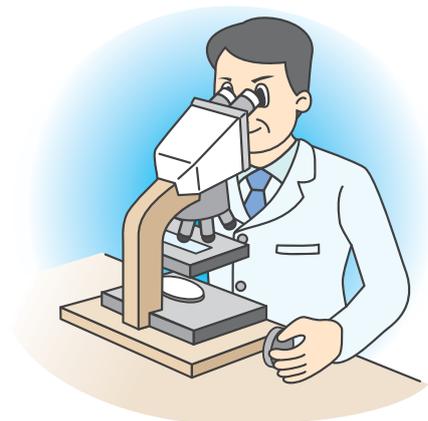
コロナ禍が続く中、東京オリンピックが無事開催されました。かつて五輪を花道に病気で退陣した政治家がいました。池田勇人首相のがん細胞を見たことがあります。日本臨床細胞学会の講演で国立がんセンターの病理医が「これは若い時に経験した池田首相の喉頭癌の細胞診です」と、1枚のスライド写真を提示されました。昭和39年当時の診断は喉頭の扁平上皮癌、現在の診断基準でも明らかな扁平上皮癌でした。診断名が同じなのは当然だと思いますか？実は病理診断は人により、時代により、国により、あるいはその日の病理医の気分により変わります。身も蓋もない話ですが、私は病理診断を完全には信じてはいません。

胃の悪性腫瘍に関わる話をします。多くは通常型の胃癌（組織型は腺癌）です。特にスキルス胃癌は最悪で、漫画家の手塚治虫やアナウンサーの逸見政孝氏はあつという間でした。一方、比較的予後が良好な“胃底腺型胃癌”という特殊例もあります。一昔前、私はこの病気を癌と診断しませんでしたし、多くの病理医もそうでした。しかし内視鏡医と病理医間で研究を重ねた結果、現在は癌ということで見解の一致を見えています。ところが海外ではこの病気は今なお癌とは診断しません。異形成（前がん病変）とみなします。もし仮に日本の病理医が全員アメリカ人なら、胃底腺型胃癌を癌とは診断してくれず、がん保険はおりなくなるでしょう。

病気の診断名がないこともあります。1980年代に胃に腫瘍が発生し、当院で手術を受けた人がいます。当時の病理診断は平滑筋肉腫でした。約30年の時を経て肝臓に新たに腫瘍が発生し、肝生検が施行されました。結果は胃腫瘍の転移でした。加えて、元の腫瘍は“消化管間質腫瘍”と診断名が変わりました。では30年前は誤診だったのでしょか？実は昭和時代には消化管間質腫瘍という病名自体が存在せず、一番形態が似ている平滑筋肉腫とされるのが常でした。やや専門的な話になりますが、腫瘍細胞の起源、免疫染色、遺伝子解析などの知見をもとに、平成初頭に一疾患と認識されたのです。ちなみにショーケンの愛称で知られる俳優の萩原健一氏は消化管間質腫瘍で亡くなっています。

逆に診断名が多すぎることもあります。その最たるものが悪性リンパ腫です。診断名の分類は50をゆうに越え、しかも治療法や予後が異なっています。同じリンパ腫でも担当医が「長い付き合いになります。気長にいきましょう」と説明をする人と、「このままでは生命の危機です。伸るか反るかです。すぐに治療を始めましょう」と説明する人に大別されます。胃原発のリンパ腫としては、前者は“MALTリンパ腫”、後者は“びまん性大細胞型B細胞リンパ腫”が代表例です。治療にしても、前者はとりあえずピロリ菌の除去、後者はいきなり抗がん剤投与ですから全く別物です。リンパ腫の組織型を決定するのは病理医の役割です。治療法や予後が全く異なる以上、「こまけーことはどうでもいいんだよ」という訳にはいきません。

わたしのがん細胞がみたい。どうしてこの診断がなされたのか、知りたい。そういう患者さんもいらっしゃることでしょ。もしそうであるならば、病理医から直接話を聞きたいと主治医に相談して下さい。時間が許す限り説明を致します。なるべくわかりやすい表現で、それを100%信じるかどうかはあなた次第です。



# 新任医師のご紹介

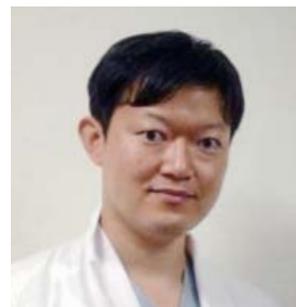


当院で勤務することになりました医師をご紹介します。どうぞよろしくお願い致します。



麻酔科

かめ やま なおみつ  
亀山 直光



産婦人科

な す ひろき  
那須 洋紀

# 出前講座「感染対策のキホン」のご紹介

当院では、職員がその専門性を活かした出前講座を実施しています。今回は、感染管理認定看護師が行う「感染対策のキホン」をご紹介します。

新型コロナウイルスの影響が拡大し、感染対策の意識はますます高まっています。この冬にはインフルエンザの流行も予想されており、他にもノロウイルスやRSウイルスなど様々なウイルスに対策をとらなければならず、効果的で適切な感染対策が求められます。

感染管理認定看護師は、それぞれの病原体の特徴や状況に応じた感染対策、ワクチン接種についての疑問など、様々なことについて説明をします。聞きたいテーマに合わせた内容にすることも可能です。是非、職場の会議や地域の集まりの際にご活用ください。

「感染対策のキホン」以外にもたくさんのお出前講座を提供しています。ご関心のある方は大牟田市HPの「市役所職員出前講座」をご覧ください。か、当院総務課までお問い合わせください。

## 過去の出前講座の様子

当院には、感染管理認定看護師2名が在籍しています。

手洗いチェックで、洗い残しを確認しています。

